

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901225		
法人名	有限会社 ほほえみゆたか		
事業所名	グループホーム すてきだね		
所在地	北海道旭川市東光15条5丁目2番12号 (電話) 0166-32-9123		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月24日	評価確定日	平成22年3月3日

【情報提供票より】(平成22年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	23人	常勤	18人, 非常勤 5人, 常勤換算 14.87人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	15,000~26,000円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無(入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	500円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	17名	男性	2名	女性	15名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 86.6歳	最低	78歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山下整形外科クリニック、おうみや内科クリニック、ツインハーブ歯科旭川リハビリテーション病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員に業務見直しアンケートを実施して、そこでの意見が話し合われ改善すべき課題を明確にして「銭湯の日」や「ゆとりの日」を設けて改善成果を挙げ、ケアサービスの質の向上に活かしている鉄筋コンクリート造り2階建ての2ユニットのグループホームです。職員の研修意欲も高く、法人で資格取得を奨励して、補助の制度を作り支援したり、内部で実技の訓練や研修等の機会の確保も行われています。また、毎月「すてきだね通信」発行し、「認知症に関する一口メモ」を継続的に掲載して、地域の人達や家族等に認知症への理解や広報に取り組んでいると共に近隣住民の悩み事や相談にのったり、ホーム行事に参加いただいています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、家族や来訪者等に職員のその日の勤務状況等知らせる取り組みについて改善点が挙げられていましたが、共用空間に職員の紹介写真や勤務状況が一目でわかる掲示がされ馴染みの職員の支援を受けていることが広報されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価を実施する意義を理解し、全ての職員が参加して自己評価が行われ新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、評価以外にも業務見直しアンケートを職員に実施し、話し合い、職員の配置や申し送りの時間等について具体的な改善効果が挙げられています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の具体的な主な議題は 救急救命訓練(AEDの使用方法)について 併設されているデイ・サービスとの合同交流会開催について 「ほほえみ祭り」開催について クラリネット演奏会開催について ボランティア(よさこい、神楽太鼓等)受け入れについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族や来訪者等が意見や苦情等を表せるように玄関入り口に「意見箱」を設置しています。また、家族会も年2回開催され、職員との交流や不安な点や要望等について意見交換が行われ運営に反映されています。家族の来訪時には、声掛けや話しやすいように工夫したり、電話等で来訪しやすいような取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	清掃事業等の町内行事への参加や大正琴、クラリネットなど地域のボランティアの受け入れなど行われ地元の人々との交流・連携に努めています。また、併設されているデイサービスで地域の人々との合同交流会の実施や「ほほえみ祭り」で福祉専門学校生やよさこいのボランティア、家族や町内の人達の参加を呼びかける取り組みも実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、独自の理念をつくりあげ玄関への掲示やパンフレットにも掲載している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝のミーティングを通じて話し合いその実践に向けて日々取り組んでいる		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	清掃事業等の町内行事への参加や大正琴、クラリネットなど地域のボランティアの受け入れなど行われ地元の人々との交流・連携に努めている。また、併設されているデイサービスで地域の人々との合同交流会の実施や「ほほえみ祭り」でボランティア、家族や町内の人達の参加を呼びかけている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する意義を理解し、全ての職員が参加して自己評価が行われ新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、評価以外にも業務見直しアンケートを職員に実施し、話し合い、職員の配置や申し送りの時間等について具体的な改善効果が挙げられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の委員は、利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、包括支援センター、法人代表者、法人事務長、管理者及び職員で構成されボランティアの受け入れ等具体的に話し合われている。</p>		<p>運営推進会議の委員に、さらに地域の人達の参加が得られるような取り組みに期待します。また、年6回を目安にした定期的開催を期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市主催の研修会参加や包括支援センターとの情報交換、研修会参加に組み込みサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行される「すてきだね通信」や一人ひとりの家族に発行される「近況報告」で日常生活の様子や健康状態などが報告されている。また、金銭管理については、出納が毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が意見や苦情等を表せるように玄関入り口に「意見箱」を設置している。また、家族会も年2回開催され、職員との交流や不安な点や要望等について意見交換が行われ運営に反映されている。来訪時には、声掛けや話しやすいように工夫をしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く安定している。また、毎月発行される「すてきだね通信」で職員の顔写真付きで紹介記事が掲載されている。共用空間には、職員の紹介写真や勤務状況が一目でわかる掲示がされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員に業務見直しアンケートを実施して、そこでの意見が話し合わせられ改善すべき課題を明確にして「銭湯の日」や「ゆとりの日」を設けて改善成果を挙げ、ケアサービスの質の向上に活かしている。また、グループホーム協議会、包括支援センター、市主催の研修会など外部研修参加を奨励している。		特筆すべき点として、業務見直しアンケートを実施してケアサービスの質の向上に活かしている。
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、グループホーム協議会や包括支援センターの研修参加を通じて他施設との交流が行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前にはお試し入居や本人、家族の来訪の回数を増やし、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、歌唱や百人一首、四文字熟語ゲーム、茶碗洗いや洗濯物たたみ等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて散歩や買い物、食事の準備や茶碗洗い等本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言、モニタリングやカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		特筆すべき点として、すべての職員から意見や要望を聞き、話し合いのもと介護計画に反映している。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画は、3ヵ月毎に見直しを行うとともに、見直し以前に状況の変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、通院など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医を確保しており、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	身体拘束委員会や朝のミーティングで職員の共有がされ、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応、記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式で生活歴が把握され、一人ひとりのペースを大切にして散歩や買い物、掃除や調理の準備等本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、盛り付けや配膳の準備、食器洗い等職員と利用者と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安に入浴が楽しめるように支援している。また、「銭湯の日」を設けて、併設されているデイ・サービスの大浴場を利用している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら調理や食事の後片付け、掃除等役割を持ち、散歩や買物など楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩やお花見、紅葉見物やドライブ等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会で職員の共有を図っている。また、全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に速やかに対応が出来るように、定期的に火災避難訓練や救急救命訓練が実施され、町内会の役員も参加している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事や水分の摂取量が記録されている。また、栄養士による栄養バランスや摂取カロリーについての指導・助言が得られている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、利用者が集い、談笑やひとりになったり思い思いに過ごして和やかさが感じられた。また、季節感が味わえるように飾りや行事参加の写真が掲示されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら観葉植物や家族の写真、使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。